

海外の保健・体育学部のカリキュラムについての報告 — その1 —

田中 佳孝

はじめに

1990年代の大学は文部省の大学改革のための通達により、組織、運営、教育、評価等のあらゆる分野にて、永年の反省や改善の必要性の上に立ち、21世紀の大学教育の柱となる改変が行なわれた年代である。しかし各大学で行なわれた改革は全ての部分が最良の形態とは言えず、更なる検討の必要性や数年の経過後の結果により改変・修正が望まれるであろう。

多くの大学ではここ2、3年のうちに見直し作業が行なわれる様子である。

改革の大きな柱の一つであるカリキュラムや卒業単位数については量の上からも質の上からも大きな変動があり、今後の修正も必ず必要となるだろう。

一昨年、昨年とアメリカの大学を訪れる機会に恵まれ、当地での体育教育やそれを取り巻く環境事情を若干ではあるが知ることができたので、ここにその一部を取り上げ、カリキュラム編成や一般教養の扱いの参考資料の一端として戴ければ幸いである。

尚ここに掲載した資料は1995年度WEBER STATE UNIVERSITY (WSU) 総合カタログから文科系学部の一般教養関係及び体育学部関係の履修方法及び科目を抜粋したものである。

WSU

GRADE REQUIREMENTS 評価について

学生は全ての取得単位のGPA (GRADE POINT AVERAGE) が少なくとも2.00以上なければならない。30単位までのD評価は卒業のための単位として適用されるかも知れない。しかし学部によっては専攻科目や副専攻科目のD評価の

単位は一部もしくは全部が認められないことがある。

HONORS AT GRADUATION

成績優秀者の卒業

成績優秀者は彼等の取得した全ての業績に対して表彰されるものである。成績の程度により下記のような称号と地位の卒業証書が授与される。

- ・ *SUMMA CUM LAUDE* - GPAが3.90以上 (最優秀)
- ・ *MAGNA CUM LAUDE* - GPAが3.80以上 (優秀)
- ・ *CUM LAUDE* - GPAが3.60以上 (秀)

GENERAL REQUIREMENT FOR BACHELOR DEGREES

学士取得単位の為の一般履修要項

文系学士取得を希望するものは最低183単位を取得しなければならない。その内60単位は上級レベルの単位を取得する必要がある。また同一年度に二つの学位の認定を受けることはできないが、同じ学位の中であれば専攻及び副専攻の認定を受けることができる。

FOREIGN LANGUAGE REQUIREMENT 外国語単位の要項件

文系学位希望者は下記のうちの一つを外国語単位として満たさなければならない。

- ① WSUで開講されている外国語コースHU 203をC+以上で合格するか、上級クラス (303を除く) の授業をC以上で合格すること。
- ② WSU外国語部で行なわれている試験を受けて熟達した成績であるという証明書を提出すること。
- ③ 大学2年レベルの外国語プログラムをC+以

上もしくは大学上級クラスをC以上で通過しているという証明書を提出すること。

GENERAL EDUCATION AND CORE REQUIREMENT

一般教養と主要科目履修要項

WSU CORE REQUIREMENTS

主要科目履修要項

全ての学位取得希望者は卒業のために下記の要件を満たさなければならない。

- ・十分な英語能力
- ・アメリカの歴史、政府、経済に関する十分な知識（州議会の法律によるもの）
- ・十分な数学能力

GENERAL EDUCATION REQUIRES

一般教養履修

学位を希望する全ての学生は一般教養の必要単位を取得しなければならない。

一般教養は様々な学習方法の中で、学生達の能力を構築するカリキュラムのうちの大きな部分である。

一般教養は大学での学生の全ての学習プログラムに物理的、生物的そして文化的世界より、広く、深い理解を与えるためのものとなるであろう。

一般教養は卒業後の学生を、自分自身で考え、学ぶ者にするだけではなく、教養ある人類の世界社会の貢献者にするものである。

一般教養は学生が批判的・分析的思考、記述・口頭での対話、数学や他の抽象的概念の扱い方などにおいて、基本的スキルを持ったり、また望んだりする事を想定し、内容の紹介や様々な学問の方法、テーマ、概念へ学生達を導き入れるものである。

学生によって選択される一般教養科目は、学習の広がりや深さや共通性を明示されるべきである。明示される内容には次のことが含まれるべきである。

大学生としてのレベルへの到達：

- ・記述、口頭、図式でのコミュニケーション
- ・抽象的論法と推論
- ・コンピューターソフトの応用
- ・図書とその他研究資料の応用
- ・批評的思考、知的学習、そして問題解決
相応の知識と理解：
- ・倫理的原則と規範
- ・人間の行動、対人関係、そして社会的相互作用
- ・科学的、歴史的、感覚的思考
- ・視覚的、文学的、行動的創造性
- ・多様な文化、自然地理、文化地理、そして経済制度
- ・生物と環境の相互関係
- ・個人の健康管理

GENERAL EDUCATION REQUIREMENTS

一般教養履修要項

HUMANITIES AREA 人文分野

() 内数字は1学期分の単位数
4グループ以上から15単位を取得すること

GROUPS :

ART 芸術：

- ・ビジュアルアート入門（3）
- ・スタジオアート（3）
- ・世界の美術と建築 — 旧石器時代～A D 200（4）
- ・世界の美術と建築 — A D 200～1600（4）
- ・世界の美術と建築 — A D 1600～現代（4）
- ・アジアの美術入門（3）

COMMUNICATION 情報交換：

- ・演説の基本（3）
- ・対話入門（3）
- ・マスメディアと社会（3）

DANCE ダンス：

- ・ダンス入門（3）

FOREIGN LANGUAGE 外国語：

- ・留学の為の外国語 — 初心者対象クラス —（1～5）
- ・留学の為の外国語 — 初級者対象クラス —（1～5）

- ・留学の為の外国語（二年目）（４）

HONORS 成績優秀者の為の特別科目：

- ・人類の将来展望（３～５）
- ・知的伝統：西洋における古代及び中世の思想（４）
- ・知的伝統：西洋における近代の思想（４）
- ・知的伝統：東洋の思想（４）

LITERATURE 文学：

- ・外国文学翻訳入門（４）
- ・フィクション入門（３）
- ・戯曲入門（３）
- ・詩入門（３）
- ・文学入門（３）
- ・アメリカ文学の代表作（３）
- ・英文学の代表作（３）
- ・シェークスピア入門（３）
- ・女性文学の将来展望（３）
- ・小論文と思考（３）

MUSIC 音楽：

- ・音楽入門（５）
- ・ジャズの発展（３）
- ・アメリカ文化における音楽（３）
- ・音楽・芸術と文明（３）

PHILOSOPHY 哲学：

- ・哲学入門（５）
- ・倫理学入門（５）
- ・実用的推論（４）

THEATRE ARTS 演劇芸術：

- ・演劇の理解（３）
- ・映画概論（３）
- ・アメリカンミュージカル概論（３）

SCIENCE AREA 自然分野

自然分野から 9 単位を履修すること。ただし生命科学グループから最低 1 科目は選択しなければならない。

GROUP - LIFE SCIENCE 生命科学：

BOTANY 植物学：

- ・植物学概論（５）
- ・過去、現在及び未来の植物利用（４）

- ・生命科学原論（５）

- ・環境評価（３）

HONORS 特別コース：

- ・生命科学の将来展望（３～５）

MIROBIOLOGY 微生物学：

- ・微生物学入門（５）
- ・初級公衆衛生（４）
- ・生命科学原論（５）
- ・微生物学原論（５）

ZOOLOG 動物学：

- ・生命科学原論（５）
- ・動物学概論（５）
- ・人類生態学（５）
- ・人体生理学（５）
- ・人体遺伝学と社会（５）

GROUP - PHYSICAL SCIENCE 自然科学：

CHEMISTRY 化学：

- ・化学入門（５）
- ・化学概論（５）
- ・化学原論（５）
- ・自然科学原論（５）

EARTH SCIENCE 地球科学：

- ・自然地理学（５）
- ・気象学入門（４）
- ・地球科学原論（５）
- ・地震と火山（３）
- ・自然地質学（５）
- ・恐竜、化石とその絶滅（４）
- ・国立公園の地質学（３）

HONORS 特別コース：

- ・自然科学の将来展望（３～５）

PHYSICS 物理学：

- ・物理学入門（５）
- ・天文学入門（５）
- ・物理学概論（４）
- ・物理学実験（１）
- ・自然科学原論（５）
- ・科学者及び工学者の為の物理学（４）
- ・物理学実験（１）

SOCIAL SCIENCE AREA 社会科学分野

2グループ以上から12単位を履修すること

GROUP :

ANTHROPOLOGY 人類学 :

- ・人類学入門 (5)
- ・考古学入門 (5)
- ・世界の人々と文化 (3)

CRIMINAL JUSTICE 刑法 :

- ・刑法 (5)

ECONOMICS 経済学 :

- ・経済学原論 (5)
- ・マクロ経済学分析 (4)
- ・アメリカ経済史 (5)

GEOGRAPHY 地理学 :

- ・世界の宗教地理学 (5)
- ・アメリカ及びカナダの地理学 (5)

GERONTOLOGY 老人学 :

- ・老人学入門 (5)
- ・社会老人学入門 (3)

HISTORY 歴史学 :

- ・世界国家史 (4)
- ・アメリカ文明史 (5)

HONORS 特別コース :

- ・社会科学の将来展望 (3~5)
- ・知的伝統：西洋における古代及び中世の思想 (4)
- ・知的伝統：西洋における近代の思想 (4)
- ・知的伝統：東洋の思想 (4)

PHILOSOPHY 哲学 :

- ・社会集団の中の個人 (5)

POLITICAL SCIENCE 政治学 :

- ・アメリカ政府 (5)
- ・政治学の理論入門 (5)
- ・国際政治学入門 (5)
- ・比較政治学入門 (5)

PSYCHOLOGY 心理学 :

- ・心理学入門 (5)
- ・対人関係とコミュニケーション (3)

SOCIAL WORK 社会福祉事業 :

- ・社会福祉事業入門 (5)

SOCIOLOGY 社会学 :

- ・社会学入門 (5)
- ・社会問題 (5)

CHILD&FAMILY STUDIES 児童及び家族教育 :

- ・人類の発展 (5)

PERSONAL DEVELOPMENT AREA

個人開発分野

下記の分野から3単位を履修すること

GROUP :

COMMUNITY SERVICE 公共サービス :

- ・公共サービス (3)

BUSINESS EDUCATION/

ADMINISTRATION SYSTEMS OR

COMPUTER SCIENCE ビジネス教育/経営シ

ステムもしくはコンピューター科学 :

- ・コンピューターの概念と応用 (4)
- ・科学/技術志向者の為のコンピューター教育 (4)

- ・マイクロコンピューターの応用

CRIMINAL JUSTICE 刑法 :

- ・実用法規 (3)

FINANCE 財政学 :

- ・個人の財政学 (4)

HEALTH 保健学 :

- ・健康的な生活洋式 (3)
- ・栄養学原論 (3)

HEALTH SCIENCE 健康科学 :

- ・医学入門 (3)

HONORS 特別コース :

- ・文化と科学の応用の将来展望 (3)

INTERIOR DESIGN TECHNOLOGY

インテリアデザイン技術 :

- ・リビングのデザイン (4)

LIBRARY SCIENCE 図書館学 :

- ・図書技術と資料と研究調査 (3)

DEPARTMENT OF HEALTH, PHYSICAL
EDUCATION, AND RECREATION

DESCRIPTION 保健体育学部の概要

保健体育学部（HPE）は運動、健康教育、栄養学、身体教育そしてコーチング法等の分野に対して教育の機会を提供している。加えて、HPEは教員養成及び大学院のためのプログラムを提供している。そしてWEBER大学全体の健康に関する行事に寄与している。

専門的知識を学ぼうとする学生に対し、次のような点を特に重要視している：運動実技、身体教育、レクリエーション、健康促進、コーチング法、そしてライフスタイル管理。加えて特別な分野の学習プログラムも提供している。

MISSION STATEMENT 学部の使命

本学部の使命は運動の科学、健康教育、栄養、身体教育やスポーツをより効果的かつ印象的に指導し、大学でのより良い経験を促進かつ完全なものにすることによって、大学としての使命をサポートし高めるものである。加えて学生のパフォーマンスや生活の質を維持し、高めるための奨学制度やサービスを提供するものである。

**PRPGRAM: LIFESTYLE MANAGEMENT
MAJOR - BACHELOR DEGREE**

ライフスタイル管理学学位専攻学科

GENERAL REQUIREMENT 一般履修要項

- ・WSUの要求科目を履修すること（前述参照）
- ・一般教養科目を履修すること（前述参照）
- ・この学位は最低183単位を必要とする。183単位のうち60単位は上級科目でなければならない（科目No.が300以上の科目）
- ・85単位をHPEの専攻科目から履修しなければならない。
- ・副専攻科目は特に履修する必要はない。
- ・当学科専攻学生は専攻科目のGPAが2.75以上の成績でなければならない。“D”は認められない。全体のGPAは2.00以上必要である。

・次に挙げる科目はライフスタイル管理学の科目に組み入れられているものであり、前もって取得すべき必要科目である。

PE220;HEALTH310;NUTRI PD105;BEAS PD170;ENGL EN111;EN112;MATH105。

SPECIFIC REQUIREMENTS 特別履修要項

- ・HPEの必修科目を34単位取得すること。
- ・研修授業／特別研究／ゼミナールを合計15単位取得すること：

12単位をPE480/HEALTH486(2-9)&/OR PE289/489/HEALTH289/489(1-9)で、2単位をPE480/HEALTH480(2-5)の特別研究で、1単位をPE499の4年のゼミナールで取得すること。

・次の3部門から20～25単位を取得すること。
記述に関する科目 3～5単位：ENGL327(3)；
COMMUNI113(5)、235(3)EDUC304(3)

記述に関する科目 3単位：COMMUN HU102(3)、214(3)、350(3)、380(3)。

生態臨床医学に関する科目 14～15単位：
HTHSCI111(5)、112(5)、113(5)あるいはZOO
LS201(4);ZOO LS202(4)とCHEM PS101(5)
あるいはMICRO LS115(4)

・人間と資源管理の分野から23～26単位を取得しなければならない。

必修科目（17単位）：PE462(3);BEAS PD170(4);COMMUN240(3)

PSYCH SS200(3);MGMT312(4)；選択必修科目（6～9単位）：資料管理分野：HAS300(4)302(4)、326(4);SST114(4)、160(3)、244(5)。人間管理分野：SOC343(4);COMMUN HU105(3);GERONT312(3);PSYCH330(3)、446(3);HAS323(4)。

・HPEの必修科目34単位は次の項目からなっている。

フィットネス（9単位）：PE220(2)、230(3)、460(4)

保健学（12単位）：HEALTH130(3)、310(3)、330(3)、415(3)

栄養学（8単位）：NUTRI105(3)、305(5)

余暇サービス（5単位）：REC168(2)、355(3)

・次の専門分野から33単位を取得すること。（ある分野を履修した場合、その分野の全ての必修科目単位を取得する必要がある。ただし選択科目の履修は自由である）

フィットネス（20単位）：必修科目 PE107(1)、109(1)、109(1)、112B(1)、157(1)、272(2)、350(5)、351(5)、437(3)。

選択科目 PE353(2)、463(3)

生涯スポーツ（14単位）：必修科目 PE343(3)、345A-B(2)OR353(2)、354(3)、355(3)、360(3)。選択科目 PE117(1)、123(1)、126(1)、129(1)、130(1)、133(1)、134(1)、152(1)、312(2)、320(2)、321(2)、322(2)、323(2)、331(3)、333(2)、341(3)、454(3)、455(2)。

保健学（12単位）：必修科目 HEALTH103(3)、270(3)、315(3)、320(3)。選択科目 HEALTH111(3)、340(3)、350(3)、422(3)。

栄養学（6単位）：必修科目 NUTRI205(3)、405(3)OR455(3)。

選択科目 NUTRI225(3)、255(3)、325(3)、425(3)。

余暇サービス（6単位）：必修科目 REC283(3)、360(3)。

選択科目 REC362(3)、455(3)、493(3);PE123(1)、127(1)、129(1)、130(1)、133(1)、134(1)ORその他指示あり。

PROGRAM: *PHYSICAL EDUCATION AND TEACHING MAJORS - BACHELOR DEGREE*

体育学と体育教職専攻学科

GENERAL REQUIREMENT 一般履修要項

- ・WSUの要求科目を履修すること。
- ・一般教養科目を履修すること。

COMMUN HU102、ZOO LS201及びHEALTH200は必修であり、PSYCH SS101は履修することが望ましい。

・教職副専攻科目を取得すること。体育教職専攻生徒は教員教育学部の履修条件に関係する。

・体育学専攻生は専門科目のGPAが2.85以上でなければならない。そして“D”は認められない。

・教職専攻生は全体のGPAが3.00以上でなければならない。

・この学位の取得には183単位が必要である。その内60単位は上級科目でなければならない。（科目No.が300以上のもの）

・体育教師を希望する学生はCECP (THE COLLEGE OF EDUCATION CERTIFICATION PROGRAM)を受講しなければならない。これらのコースには次の科目が必ず含まなければならない：EDUC195(1)、300(2)、301(4)、303(3)、305(3)、462(4)、463(4)、495(15)、499(3)。補助コースから必要な科目：EDUC365(3)。次の科目から1科目選択必修：CHFAM SS150(5)、PSYCH314(3)、CHFAM 450(3)。

SPECIFIC REQUIREMENTS 特別履修要項

必修科目（56単位）：PE168(2)、170(2)、171(2)、172(2)、270(2)、272(2)、350(5)、351(5)、353(2)、360(3)、370(2)、371(2)、372(2)、460(4)、461(3)、462(3)、463(3)、486(2)、499(1);REC283(2);HEALTH300(3);DANCE271(2)。

選択科目（6単位）：PE310(2):311(2):312(2):313(2)、314(2)、320(2)、321(1)、322(1)、323(1)、324(2)、325(1)、331(2)、333(2);DANCE332(2)。

推奨補助科目（8単位）：PSYCH SS101(5);NUTRITION PD105(3)。

野外活動：アドバイザーから指示された専門的野外活動から3種類を選んで参加すること。

PROGRAM: *ATHLETIC COACHING MINOR*

競技コーチ学副専攻

GENERAL REQUIREMENTS

一般履修要項

副専攻取得希望学生は副専攻科目のGPAが2.25以上でなければならない。

SPECIFIC REQUIREMENTS 特別履修要項
28単位以上取得すること。

- ・必修科目(19単位) : PE341(3)、342(4)、343(3)、345(2)、486(6)、499(1)。
- ・選択科目(9単位) : PE310(2)、311(2)、312(2)、313(2)、314(2)、320(2)、321(2)、322(2)、323(2)、324(2)、325(2)、333(2)。
- ・関連科目(3単位) : PE354(3)、355(3)、360(3)。
- ・専門活動(2単位、コーチ法及びその理論に関するもので、アドバイザーの意見を聞くこと) : PE170(2)、171(2)、172(2)、270(2)、272(2)、370(2)、371(2)、372(2)、あるいは1単位のPE中級レベルの活動科目を2科目取得すること。

PROGRAM:HEALTH PROMOTION MINOR
健康促進副専攻科

GENERAL REQUIREMENTS

一般履修要項 :

- ・副専攻科目のGPAが2.25以上であること。
- ・このコースを受講する前に、人体臨床学系の保健科学Ⅰ(5)、保健科学Ⅱ(5)、保健科学Ⅲ(5)もしくはMICRO LS115初級衛生学(4)、ZOOLOGY LS201 人体生理学(5)、LS202 人体解剖学(4)のいずれかを取得しておくこと。
- ・CHES 国家試験を受講するものはこの学科の37単位を前もって取得しておく必要がある。

SPECIFIC REQUIREMENTS

特別履修要項 : 30単位以上を取得すること。

- ・必修科目(18~21) : HEALTH PD103(3)、310(3)、300(3)AND/OR315(3)、320(3)、330(3)、415(3)。
- ・選択科目(9~12) : HEALTH PD105(3)、111(3)、130(3)、255(3)、270(3)、305(5)、340(3)、350(3)、422(3)、491(1)、286AND486(2~9)、289AND489(1~9)、480(1~5)。
- ・教員試験を受験する学生は次の科目を取得すること : HEALTH PD103(3)、105(3)、130(3)、270

(3)、300(3)、310(3)、320(3)、330(3)、350(3)、415(3)。

**PROGRAM:PHYSICAL EDUCATION
MINOR AND PHYSICAL EDUCATION
TEACHING MINOR**

体育副専攻および体育教職副専攻

GENERAL REQUIREMENTS

一般履修要項

- ・副専攻科目のGPAが2.25以上であること。

SPECIFIC REQUIREMENTS

特別履修要項 : 25単位を取得すること。

- ・必修科目(14単位) : HEALTH300(3);PE168(2)、170(2)、171(2)、172(2)、360(3)。
- ・選択科目 ; 5単位を次の科目から : DANCE 146(1)、147(1)、149(1)、152(1)、153(1)、271(2) ; PE160(1)、370(2)、371(2)、372(2)、6単位を次の科目から : DANCE332(2);PE310(2)、311(2)、313(2)、314(2)、320(2)、321(1)、322(1)、323(1)、324(1)、325(1)、331(2)、333(2)。

**PROGRAM : PHYSICAL EDUCATION
MINOR FOR THE ELEMENTARY
SCHOOL** 小学校のための体育副専攻

GENERAL REQUIREMENTS

一般履修要項

- ・副専攻科目において2.25以上のGPAを取らなければならない。

SPECIFIC REQUIREMENTS

特別履修要項 : 25単位以上を取得すること。

- 必修科目(17単位) : HEALTH200(3);PE360(3):362(3):363(3):364(2);REC455(3)。
- 選択科目(8単位) : PE108(1)、248(1)、170(2)、171(2)、270(2)、271(2)、370(2)、372(2)、386(2)。

科目番号及び名称

HEALTH EDUCATION COURSES-
HEALTH

健康教育科目（単位数）開講学期

- PD103 健康な生活洋式（3）夏、秋、冬、春
105 栄養学の原則（3）夏、秋、冬、春
111 ストレスの管理（3）夏、秋、冬、春
130 救急処置：緊急時への対応（3）夏、秋、冬、春
255 青少年期の栄養学（3）春
270 健康のための消費活動（3）冬
289 共同実習（1～9）夏、秋、冬、春
292 短期コース、研修会、学会そして特別プログラム（1～6）
300 学校の健康プログラム（3）秋、冬
305 栄養教育（5）冬
310 健康促進の基本（3）秋、冬
315 知育社会での健康促進プログラム（3）冬
320 健康教育の方法（3）春
330 健康促進プログラムの方法と評価（3）冬
340 薬物の乱用予防（3）夏、秋、冬、春
350 人間の性的性質（3）夏、秋、冬、春
386 実地研修（2）
415 健康促進プログラムの発展と管理（3）春
422 女性の健康問題（3）
480 個人研究（2～5）夏、秋、冬、春
486 実地研修（2～9）夏、秋、冬、春
489 共同実習（1～9）夏、秋、冬、春
492 短期コース、研修会、学会、特別プログラム（1～6）

NUTRITION EDUCATION COURSES-
NUTRI

栄養教育科目

- PD105 栄養学の原理（3）夏、秋、冬、春
205 栄養価、食事と健康（3）秋
225 出産前と乳幼児の健康学（3）秋
255 青少年の栄養学（3）春
305 栄養教育学（5）冬
325 治療の栄養学（3）春
355 様々な文明における食事の傾向と実際（3）冬
405 人体の組織、運動と食事（3）春
425 老人の栄養学（3）秋
455/655 フィットネスとスポーツの栄養学（3）冬

PHYSICAL EDUCATION COURSES-PE
身体教育科目

以下の科目は卒業科目もしくは自由科目からなり、運動のタイプ（例えば格闘技、フィットネス種目、ラケット種目等）によって区分されている。また技術レベルをA-初級、B-中級、C-上級で示されている。そしてフィットネス種目を必ず選択することを推奨する。

ただし次の科目は別途費用が必要である。121A、121B、125B、127A、127B、133A、133B、142

下記の実技科目は全て1単位である。

格闘技（100～104）

- 101A 空手初級
101B 空手中級
101C 空手上級
103 レスリング初級
104 フェンシング初級
104B フェンシング中級

フィットネス（105～113）

- 106 コンディショニング
107A ウォーキング
108 日常生活のためのフィットネス
109A エアロビクダンス初級

1 0 9 B エアロビクダンス中級

1 1 0 ジョギング

1 1 2 A 強化トレーニング初級

1 1 2 B 強化トレーニング中級

ラケットスポーツ (114~119)

1 1 5 A バドミントン初級

1 1 5 B バドミントン中級

1 1 7 A ラケットボール初級

1 1 7 B ラケットボール中級

1 1 7 C ラケットボール上級

1 1 9 A テニス初級

1 1 9 B テニス中級

リクリエーション (120~136)

1 2 1 A アーチェリー初級

1 2 1 B アーチェリー中級

1 2 3 自転車

1 2 5 A ボウリング初級

1 2 5 B ボウリング中級

1 2 6 フィッシング

1 2 7 A ゴルフ初級

1 2 7 B ゴルフ中級

1 2 9 ハイキング

1 3 0 A ロッククライミング初級

1 3 0 B ロッククライミング中級

1 3 2 セイルボード (ヨット)

1 3 3 A スキー初級 C/NC

1 3 3 B スキー中級 C/NC

1 3 4 A クロスカントリー・スキー初級 C/
NC

1 3 4 B クロスカントリー・スキー中級 C/
NC

特別種目 (137~148)

1 3 8 CHATONELLES

1 3 9 ロデオ

1 4 0 A 器械体操初級

1 4 0 B 器械体操上級

1 4 2 射撃

1 4 4 護身術

1 4 6 ヨーガ C/NC

チームスポーツ (149~155)

1 5 0 A バスケットボール初級

1 5 0 B バスケットボール中級

1 5 2 A サッカー初級

1 5 2 B サッカー中級

1 5 3 ソフトボール

1 5 4 A バレーボール初級

1 5 4 B バレーボール中級

水中運動

1 5 6 A 水泳初級

1 5 6 B 水泳中級

1 5 6 C 水泳上級

1 5 7 水中エアロビク

1 5 8 女性のための水中運動

1 6 0 ウォータースポーツ

ダンス

1 4 6 フォークダンス

1 4 7 バレー初級

1 4 8 ジャズダンス初級

1 4 9 モダンダンス初級

1 5 2 ソシアルダンス

1 5 3 スクウェアダンス

2 4 7 中級バレー

2 4 8 ジャズダンス中級

2 4 9 モダンダンス中級

1 6 7 人命救助と水の安全策 (2) 秋

1 6 8 体育学入門 (2)、秋、冬、春

1 6 9 救助員トレーニング (2)、冬

1 7 0、1 7 1、1 7 2 専門家のための活動 (2)

2 0 0 スポーツの審判 バレーボール (2)

2 0 1 スポーツの審判 バスケットボール
(2)

2 0 2 スポーツの審判 ソフトボール (2)

2 0 5	スキューバダイビング (2)	3 5 5 / 6 5 5	競技者の動作における精神的側面 (3) 冬
2 2 0	ライフスタイル管理者の基本 (2)、秋、春	3 6 0 / 6 8 3	運動学習 (3) 秋、冬、春
2 3 0	運動、コンディショニング、トレーニング、栄養 (3)、秋	3 6 2	小学校における体育、低学年 (3) 秋、冬、春
2 4 4	レイプに対する認識 (2)	3 6 3	小学校における体育、高学年 (3) 秋、冬、春
2 4 8	生活構想の中でのフィットネス (1)、夏、秋、冬、春	3 7 0、3 7 1、3 7 2	専門家のための活動 (2)
2 7 0、2 7 1、2 7 2	専門家のための活動 (2)	4 3 7 / 6 3 7	体力測定と個人別練習処方 (3) 春
2 8 9	共同実習 (1~9) 夏、秋、冬、春	4 5 4	競技者のためのトレーニング中級 (3) 春
2 9 2	短期コース、研究会、学会、そして特別プログラム (1~6)	4 5 5	競技者のためのトレーニング上級 (3)
3 1 0	コーチング法 アメリカンフットボール (2) 冬	4 6 0	体育における測定評価法 (4) 秋、春
3 1 1	コーチング法 バスケットボール (2) 秋	4 6 1	体育原論 (3) 春
3 1 2	コーチング法 野球とソフトボール (2) 春	4 6 2	健康的なライフスタイルプログラムの管理 (3) 冬、春
3 1 3	コーチング法 陸上競技 (2) 春	4 6 3	身体教育の適用 (3) 春
3 1 4	コーチング法 バレーボール (2) 冬	4 8 0	個人研究 (2~5) 夏、秋、冬、春
3 2 1	コーチング法 水泳競技 (2)	4 8 6	実地研修 (2~9) 夏、秋、冬、春
3 2 2	コーチング法 ゴルフ (2)	4 8 9	共同実習 (1~9) 夏、秋、冬、春
3 2 3	コーチング法 テニス (2) 秋	4 9 2	ゼミナール (1) 春
3 2 4	コーチング法 PEPクラブ・ドリルチーム・チアリーダー (2)		
3 2 5	コーチング法 サッカー (2) 秋	RECREATION COURSES-REC	
3 3 1	水中での運動を教える為のテクニックと用具 (2) 春	レクリエーション科目	
3 3 2	人命救助法を教えるためのテクニック (2)	1 6 8	レクリエーションと余暇サービス (2)
3 3 3	コーチング法 器械体操 (2) 冬	2 8 3	公共的レクリエーションの指導 (3) 秋、冬
3 4 1	スポーツ原論/心理学 (3) 秋	2 8 9	共同実習 (1~9)
3 4 2	スポーツ生理学/医学 (4) 冬	2 9 2	短期コース、研修会、学会、特別プログラム (1~6)
3 4 3	スポーツ教育学/法律 (3) 春	3 5 5	レクリエーションの指導 (3)
3 5 0	キネシオロジー (5) 秋、冬	3 6 0	野外レクリエーション (3) 春
3 5 1	生理学演習 (5) 冬、春	3 6 1	野外でのサバイバル演習 (3)
3 5 3	スポーツ傷害 (2) 秋	3 6 2	冬のレクリエーション (3) 冬
3 5 4 / 6 3 6	競技者の動作における生理学的側面 (3) 秋	3 8 6	実地研修 (2)
		4 5 3 / 5 5 3	上級野外でのサバイバル訓練 (2~6)
		4 5 5	野外教育原論 (3)

489 個人研究(2~5)
 489 共同実習(1~9)
 492 短期コース、研究会、学会、特別プログラム(1~6)
 493 野外教育研究会(3)夏

その他の学部の関連科目名と名称

BEAS PD170 マイクロコンピューターの応用(4)
 ENGL EN111、112 大学の記述英語(4)
 MATH105 中級代数学(3)夏、秋、冬、春
 INGL327 雑誌の論説記述について(3)
 COMMUN113 取材の基本(5)夏、秋、冬、春
 COMMUN235 情報の描写(3)秋、春
 COMMUN HU102 演説の原則(3)夏、秋冬、春
 COMMUN214 小グループの討論の理論と練習(3)春
 COMMUN350 商業及び専門会話(3)春
 COMMUN380 説得力のある会話(3)夏、秋、冬、春
 HTHSCI111、112、113 健康科学(生体医学)(各5)
 ZOO L S201 人類生物学(4)夏、秋、冬、春
 CHEM PS101 化学入門(5)秋、冬、春
 MICRO LS115 初級公衆衛生(4)夏、秋、冬、春
 COMMUN240 社会の総合的関連の原則(3)秋、春
 PSYCH SS200 対人関係と対話(3)
 MGMT312 組織された行動と管理(4)夏、秋、冬、春
 HAS300 健康医療制度(4)
 HAS302 健康医療の市場と計画(4)

HAS326 健康医療行政と専門理論(4)
 SST114 販売技術の基本(4)秋、冬、春
 SST160 上級販売技術(3)秋、冬、春
 SST244 宣伝方法(5)秋
 COMMUN HU105 対話入門(3)夏、秋、冬、春
 GERONT312 老化:適応と行動(3)秋
 PSYCH330 行動分析と修正(3)
 PSYCH446 社会心理学(3)
 HAS323 健康医療現場における対人技術(4)

WSUのカリキュラムの特性

1. 英語教育に関しては、大学として一定のレベルに達する能力を要求し、各学部でもその学部に必要とされる能力を求めるために、英語学部(DEPARTMENT OF ENGLISH LANGUAGE)の授業の履修を指定している。
2. 国や州の法律により自国の歴史、政府、経済についての知識を学ぶ為の単位を必修としている。
3. 一定レベルの数学能力を要求し、能力にあった授業を指定している。
4. 一般教養科目は4分野(人文、自然、社会、その他)に分別され、各々の分野の選択単位が指定されている。
5. 以上のいわゆる日本で言う教養科目や語学での日本との大きな差異は国や機関による様々なテストに合格することによりこれらの学位に必要な単位を取得できたり、クラス指定の資料に利用されていることである。例えばACT(AMERICAN COLLEGE TEST)やCLEP(COLLEGE LEVEL EXAMINATION PROGRAM)等である。アメリカのほとんどの大学は上記のような方式で教養課程を実施しているとのことであった。
6. WSUの学期は4学期からなり、1学期は平均65日間で、各学期前に学生は次学期に自分が

履修する科目の登録をし、受講料を払い込むシステムになっている。評価は各学期毎に行なわれる試験によって出される。

7. 各科目の授業時間や回数はそれぞれ違い、週1時間から毎日行なわれるものもあり、それによって単位数も変わってくる（例えばREC361 OUTDOOR SURVIVAL（3）は1時間の講義と3時間の野外活動が毎週行なわれる）
8. 各学年で履修できる単位数を決められている。（一学年45単位まで、1学期20単位まで、但し4学年は除く）。しかし特別な申請（成績が優秀であることが必須条件）により拡大されることもある。
9. 特に専攻科目では成績によりGPAが算出され、評価の程度により学位取得が認められない。ちなみに評価とそれに対するGPAは下記のようにになっている。

A EXCELLENT	4.0
A- EXCELLENT	3.7
B+ GOOD	3.3
B GOOD	3.0
B- GOOD	2.7
C+ STANDARD	2.3
C STANDARD	2.0
C- STANDARD	1.7
D+ SUB-STANDARD	1.3
D SUB-STANDARD	1.0
D- SUB-STANDARD	0.7
E FAILURE	0

10. 科目の履修には前もって取得しなければならない科目が指定されているものがあり、上級レベルの科目（科目No.300以上）のほとんどはこれに該当する。日本のそれとは違い3・4年生で履修する科目は1・2年で修得した内容をさらに深めていく形が多く取られている。
11. 上級レベルの講義になると教授される部分よりも実習や学生主体の授業が多くなるように思われる。
12. WSUはロッキー山脈の麓に位置し自然の多いところで、体育学部の専攻科目にもアウトド

アの科目が多く、大学の特異性が出ている。

あとがき

今回は一大学のカリキュラムを提示するにとどまったが、保有している他大学のカタログを見ても教養科目においては同様であった。日本とアメリカ合衆国には社会制度や取り巻く環境に大きな違いはあるが、これからのカリキュラム編成に一縷の参考になればと思う。